

形成外科

吉龍 澄子

1999年7月に大阪医療センター皮膚科内に形成外科の常勤医1名が赴任してスタートし、2000年4月1日より診療科として形成外科を標榜しました。2007年4月より外科の中で診療を行ってききましたが、2009年7月より形成外科は外科から独立した診療科となりました。

当院は形成外科学会の教育関連施設に認定され、形成外科専門医取得のための卒後教育にも当たっています。

当科は、自科で行う診療および複数の科とのチーム医療における再建外科を2本の柱として行ってきました。院内での腫瘍外科手術の増加に伴い、チーム医療における再建外科としての比率がやや高くなっています。

自科としての診療では、主に顔面、頭頸部の皮膚悪性腫瘍、眼瞼形成術、皮膚腫瘍、ケロイド、瘢痕拘縮などの皮膚外科手術、顔面神経麻痺の形成手術を扱っています。

顔面の腫瘍の中でも特に眼瞼の腫瘍は、腫瘍の治療という点からだけでなく、眼瞼の機能、および整容的にも満足のいく治療を行うのが重要と考えて治療方針を決め、術式も工夫を行っています。眼瞼癌について放射線科、眼科の協力のもとに、手術だけでなく照射療法なども選択枝に入れて、十分な説明の上、患者様の希望も考慮して治療方針を決定しています。また眼球近くの悪性新生物でも、できるだけぎりぎりまで眼球温存するよう努めています。腫瘍以外では、眼瞼下垂や睫毛内反症、眼瞼外反などの眼瞼の変形や機能障害について、整容面に配慮した眼瞼形成手術をほぼ毎週数例以上行っています。

顔面の皮膚癌について、四肢の腫瘍や乳癌でおこなわれているセンチネルリンパ節検査の導入を試み、その皮膚癌に適したリンパ節郭清を行う方針を採っています。その他、治療困難な真性のケロイドに対して、切除後の放射線照射療法を含む治療に取り組んでいます。当科は、全国で唯一ケロイドに対して組織内照射を行っていますので、症例や部位に応じて、切除後放射線外照射あるいは組織内照射を使い分けて治療しています。ケロイドの他にも術後の創部の瘢痕拘縮の修正術も行っています。

もう1つの診療の柱として当科では、院内の外科系各科の癌の切除後の再建に取りくんできました。頭頸部再建、乳癌再建が主なものですが、その他、四肢、体幹の再建も増加しています。頭頸部再建症例は形成外科開設以来180例を超え、大部分がマイクロサージェリーによる遊離皮弁の症例です。耳鼻咽喉科、口腔外科、形成外科、放射線科で頭頸部カンファレンスを行い、術前の症例を検討しています。外科、耳鼻科、口腔外科、形成外科、放射線科、脳外科などによるチーム医療体制が良好なため、安定した再建成績を維持できており、そのため現在まで再建皮弁の壊死などの大きな合併症は1例も起こっていません。

乳房再建は、自家組織の皮弁による再建を行ってききましたが、2007年より自費診療でのシリコン人工乳房による再建も開始し、患者様の再建の選択枝が増えました。今後も悪性腫瘍、顔面の形成、再建外科、皮膚外科を中心に診療する方針です。

【2011 年度研究発表業績】

A-3

吉龍澄子、金村米博：ヒト真皮線維芽細胞の分化能評価。日形会誌, 31: 453-461, 2011

B-3

吉龍澄子、吉田 謙：癬痕・ケロイドに対する治療～我々の放射線治療の使い分け～（パネル 治りにくい傷を治す）。第3回日本創傷外科学会総会・学術集会 2011年7月（札幌）

B-4

吉龍澄子、森田耕輔、深井 恵：有茎結膜弁を用いて眼球を温存し得た眼球結膜に浸潤する扁平上皮癌の1例。第27回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会 2011年6月（東京、新宿）

吉龍澄子、金村米博：ヒト真皮線維芽細胞の分化能評価。第3回日本創傷外科学会総会・学術集会 2011年7月（札幌）

吉龍澄子、金村米博：ヒト真皮線維芽細胞の分化能評価および他の間葉系幹細胞との分化能比較。第20回日本形成外科学会基礎学術集会 2011年10月（東京）

吉龍澄子、岡村玲子：再建プレートと皮弁を用いた下顎再建例の検討および *seneory protection* と筋膜移植による我々の工夫。第38回日本マイクロサージャリー学会学術集会 2011年11月（新潟市）

B-6

岡村玲子、吉龍澄子：リン酸カルシウムペースト(Biopex[®])を用いて、術後の頭部陥凹変形を修復した2例。第98回日本形成外科学会関西支部学術集会 2011年7月（大阪市）

岡村玲子、吉龍澄子：下肢に多発潰瘍を認めた livedo vasculitis (summer ulcer) の一例。第35回大阪形成外科医会 2011年10月（大阪市）

岡村玲子、吉龍澄子：皮下乳腺全切除後外側乳房皮膚に壊死を生じ、修正術を行った症例。第99回日本形成外科学会関西支部学術集会 2011年12月（京都市）